

ママと子どもの
言葉の力を育む講座

⑨

Language Training for
Mom and children

講師 Mariko

9. 話す力

課題① 語彙を豊かにするための訓練

擬態語、擬音語オノマトペ

を豊かに使う それぞれ10こずつ考えてみてください

- ・お菓子の擬音語 (ex.ふわふわのわたがし)
- ・野菜の擬音語 (ex.ごつごつしたじゃがいも)
- ・天候の語彙 (ex.蒸し暑い、快晴、どんより)

課題②聴くのと三原則を意識したエピソード紹介

子どもでも大人でも相手は誰でも構いません。

特にいつもはしない質問をしてみることで、

相手とコミュニケーションを深める意識を日常で体験してみてください

**世界水準の
『聴く』の三原則**
・信頼
・理解
・質問

話す⇔聞く

聞く力があれば、話す力がのびる

話すためには聞かなければならない

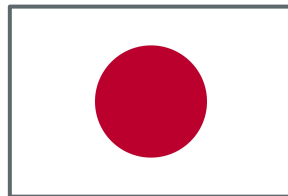
話したくなるようなうまい聞き方とは？

- ・ジャッジしない姿勢【信頼】
- ・知りたいという興味をもった姿勢【理解】
- ・無知の姿勢【質問】

日本式コミュニケーション

聞き手責任 (listener's responsibility)

ハイコンテキスト



- ・主語を省略
- ・述語が最後にくる
- ・エピソードから話す
- ・文脈を読み取る
- ・空気を読む
- ・顔をうかがう
- ・言い切らない
- ・前置きが入る
- ・結論を言わない
- ・以心伝心
- ・阿吽の呼吸
- ・理由を先に言う

グローバルコミュニケーション



話し手責任 (speaker's responsibility)

ローコンテキスト

- ・結論を先に言う
- ・意見をはっきりいう
- ・主旨を伝える
- ・言語で伝える
- ・ナンバーリングする
- ・シンプルに伝える
- ・明確に伝える
- ・主語がある
- ・否定、述語が先にくる
- ・理由はあとにくる

コンテキストとは？

「文脈」を意味する英語 context
状況、脈略、背景、前後関係と訳されることもある
文化の共有度をあらわす

ハイコンテキストとは？

互いの文化の共有度が高い状況で、
言語以外の部分で理解し合うことを期待して行われる表現
明確に断言せず、抽象的な表現を使用することも多く
「暗黙の了解」などがこれにあたる

ローコンテキストとは？

言語表現を重視するコミュニケーション方法のこと。
伝えたいことを言葉で明確に表現し、
受け取る側も言葉からの情報のみで受け取る

世界各国文化のハイコンテキスト・ローコンテキスト度合い

アメリカ

オランダ

フィンランド

スペイン イタリア シンガポール

イラン 中国

日本

オーストラリア

ドイツ

デンマーク

ポーランド

ブラジル

メキシコ

フランス インド

ケニア

韓国

カナダ

イギリス

アルゼンチン

ロシア

サウジアラビア

インドネシア



ローコンテキスト

ハイコンテキスト

言葉で伝える文化

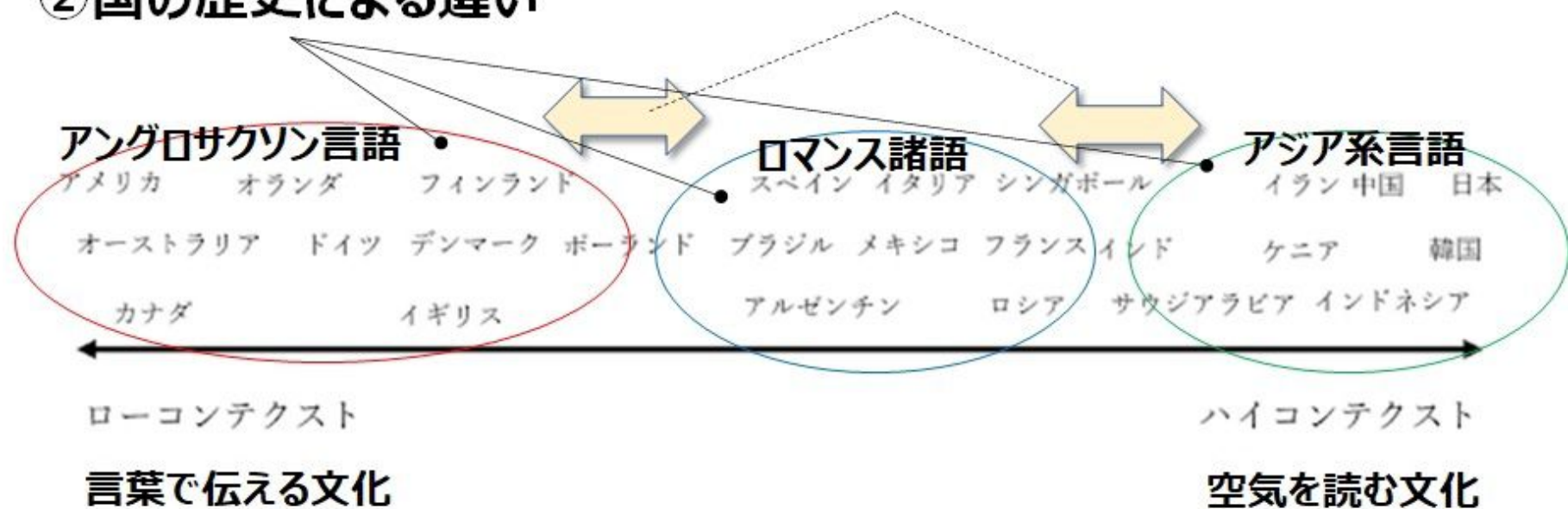
空気を読む文化

※「異文化理解力」(エリン・メイヤー著)を参考に作成

ハイコンテキスト・ローコンテキストは、
①言語、②国の歴史 に影響を受ける

②国の歴史による違い

①言語による違い



※「異文化理解力」(エリン・メイヤー著)を参考に作成

難聴児にはローコンテキストでコミュニケーションをとったほうがよい

例えば・・・

主語をつける

理由をつける

結論や主旨、目的をはっきりさせる

察し悪いふりをする

質問をたくさんする

事実と意見を切り離す

今までLanguage Trainingで学んできたことですね

show&tell

アメリカやカナダ、オーストラリアなどで、幼稚園や小学校で行われている、発表のこと。
クラスメイトの前で自分の好きなものや興味のあること、最近の出来事について発表するもの。

日本でも徐々に教育の中で取り入れられている。



show&tellの例

題材)お気に入りのぬいぐるみ

子ども「このくまのぬいぐるみは私のお気に入りです。

おばあちゃんが買ってくれました。

白くてふわふわしているところが大好きです。

私は夜いつも一緒に寝ています。」

質問

「名前をつけていますか？」

「いつおばあちゃんにもらったのですか」

「他にもお気に入りのぬいぐるみはありますか」

show&tell の効果

- ・正解のない意見をいう力がつく
- ・自分の「好き」を他者に認めてもらうことで、自分に自信がつく
- ・他者の好きなものを知ることで、多様性につながる
- ・話を聴く力がつく
- ・質問する力がつく

難聴児療育の絵日記と似ている

どうして？なぜ？に答えていますか

「ママ、どうして雨は空から降ってくるの？」

「ママ、どうして悲しくなると涙がでるの？」

こんなたくさんの子どもからでてくるなぜなぜにどのように答えていますか

NG「雨は空からふるものなの」

NG「そう決まってるのよ」

NG「そういうものなの」



好奇心をつんで、
考えることをやめさせてしまう

9歳を超えると大人のなぜに答えなくなる

話す力を身につけさせるために親ができること

・5W1Hを使って質問をする わかったつもりにならない

・子どもの好奇心にこたえる 考えることをやめさせない

・答えのない質問をする その人独自のものを引き出す

(×『このりんごは何色?』 ◎『赤い色は何がある?』)

・子どもの好きなこと、得意なことを引き伸ばす声掛け

(○○ちゃんって××がほんとに得意だよね、××が大好きだよね)

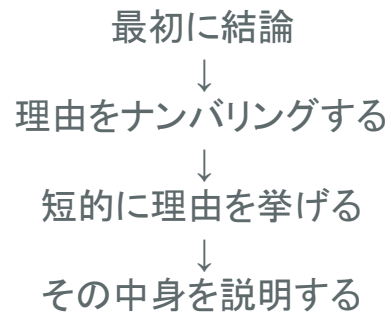
その子自身が、『自分が何者か』をたくさん語れるようにする

今月の絵本(4月)

順番にみなさんに紹介してもらいます



紹介するときのルール



この型にはめて発表すると
きっとあなたも思いが伝わる発表上手になれます♪

今月のリトミック

https://youtu.be/2Pq9_1jtT9o

4月のうた『ぶんぶんぶん』